



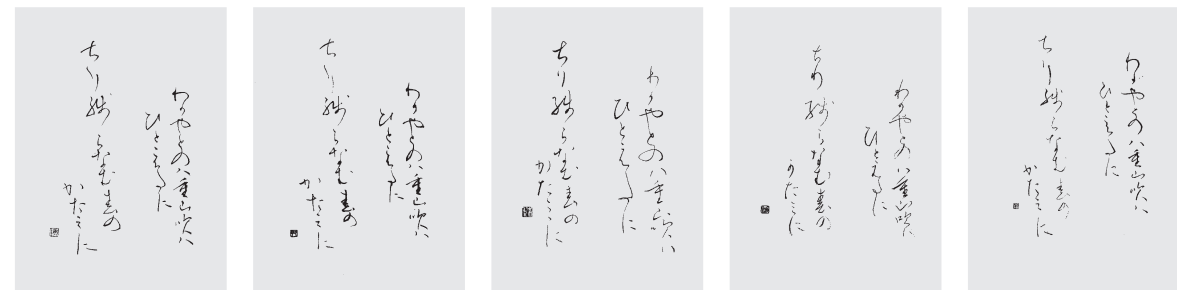
来山 佳織(福山) 井上 尚彦(三原) 峰松 建太(道三) 安藤 凌雲(青墨) 安田 恵玉(福山) 通山 佳子(福山) 横岡 紫風(上下)



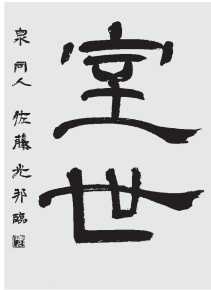
佐藤 九媛(高島) 津島 久代(福山) 横岡 紫風(上下) 平井恵津子(西城) 藤井 博春(福山)



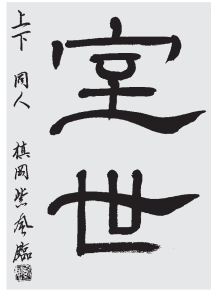
小林 柊香(府中) 峰松 建太(道三) 佐藤 光邦(泉) 安田 恵玉(福山) 横岡 紫風(上下)



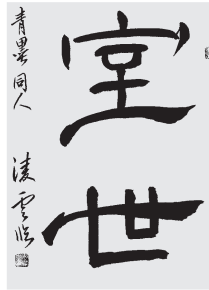
藤井 博春(福山) 小林 桂芙(桂友) 杉本 美翠(上下) 小林 柊香(府中) 田中 彩紅(大門)



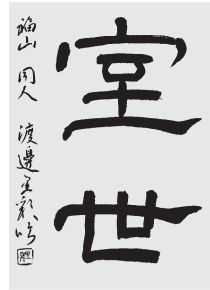
佐藤 光邦 (泉)



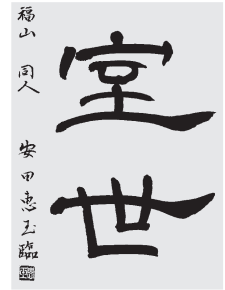
楨岡 紫風 (上下)



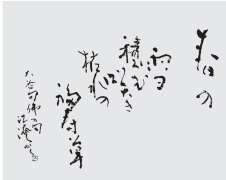
安藤 凌雲 (青墨)



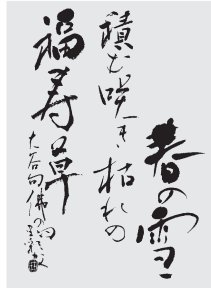
渡邊 里彩 (光筆)



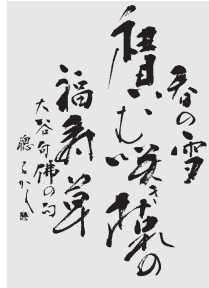
安田 恵玉 (福山)



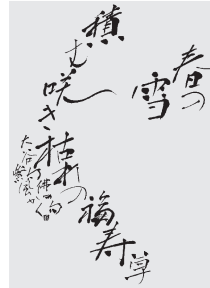
橋本 江淹 (府中)



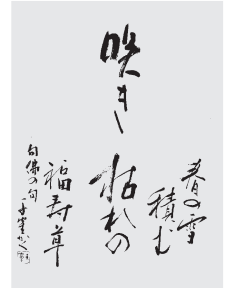
渡邊 里彩 (光筆)



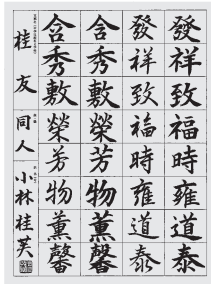
矢研田聰子 (廣島)



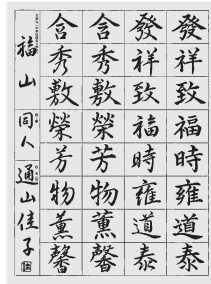
楨岡 紫風 (上下)



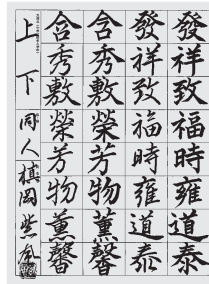
美除 千鶴 (庄原)



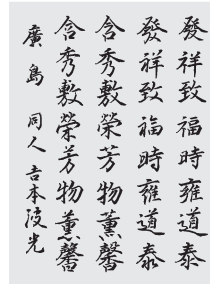
小林 桂芙 (桂友)



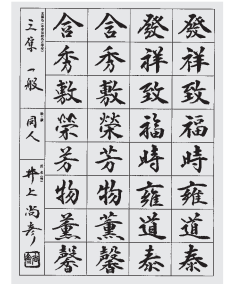
通山 佳子 (福山)



楨岡 紫風 (上下)



吉本 波光 (廣島)



井上 尚彦 (三原)



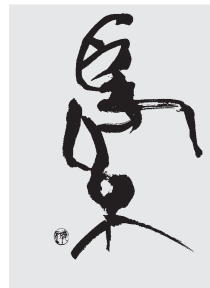
津島 久代 (福山)



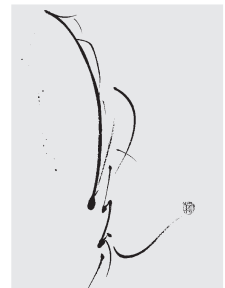
高橋 陽子 (来見)



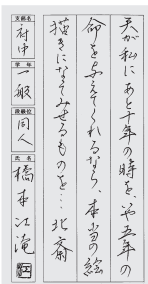
重岡 喜祥 (三星)



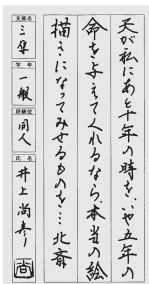
安藤 凌雲 (青墨)



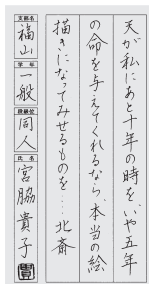
楨岡 紫風 (上下)



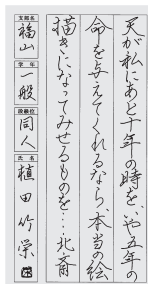
橋本 江淹 (府中)



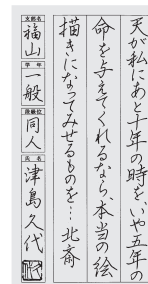
井上 尚彦 (三原)



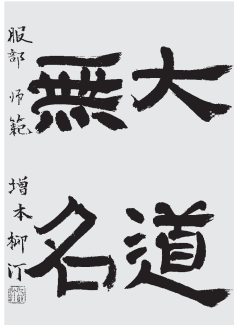
宮脇 貴子 (福山)



植田 竹栄 (福山)



津島 久代 (福山)



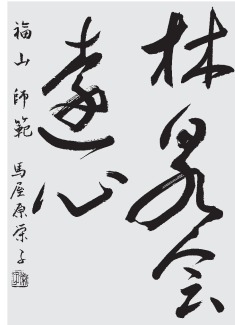
増本 柳汀(服部)

無理のない安定した運筆が隸書の意を捉えていて、存在感のある作品となった。



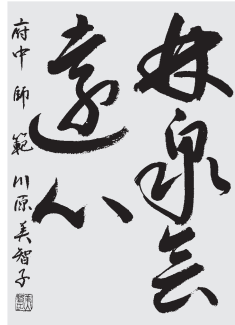
渡邊 未菜(福山)

ゆったりと落ち着いたフォルムで、やわらかいイメージの和みある作品。



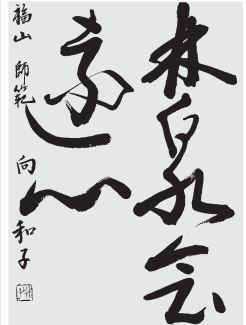
馬屋原 栄子(福山)

細線ながらキリッとして躍動感ある線が魅力的。



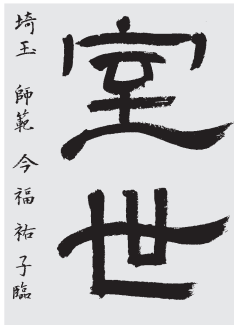
川原 美智子(府中)

自然に流れる線が魅力的。安定感ある作品です。



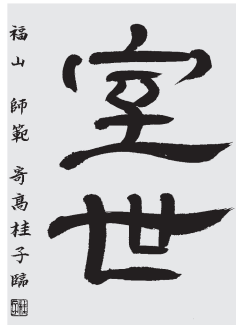
向 和子(福山)

文字造形、引き締まった線でバランスがとれていてすばらしい。



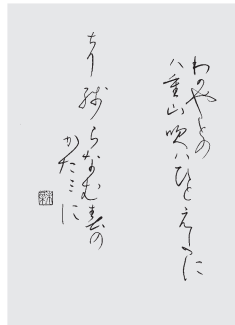
今福 祐子(埼玉)

これ又、特徴をとらえている。「室」字の破綻はみごと。「世」字でやや筆先がそろわなかったのは残念。造形良し。



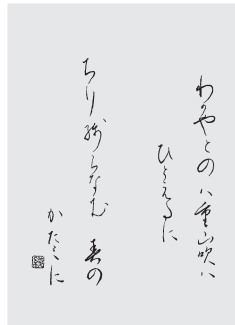
寄高 桂子(福山)

曹全碑の特徴、特に横画の抜き方やゆったりと流れる破綻表現はみごと。研究科作品にふさわしい。



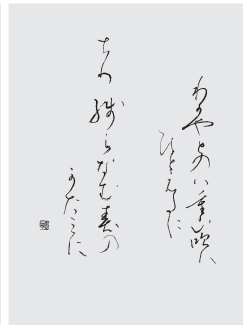
渡邊 未菜(福山)

運筆よく伸びやかで自然な流れを感じる作品です。



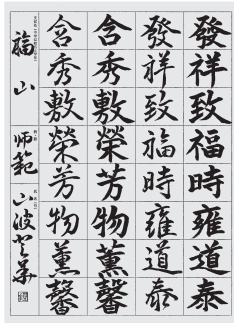
伊藤 綾子(庄原)

淡々とした線で落ち着きのある作品です。



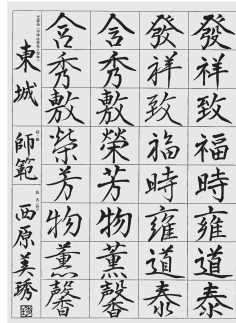
増本 柳汀(服部)

ゆったりとのびやかで線の流れが美しく安定感のある作品です。



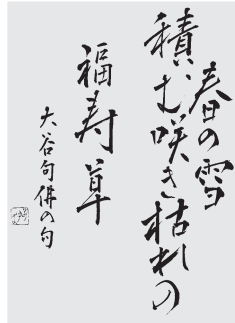
山波 登華(福山)

全体に厚重感みなぎる作品。グッド！



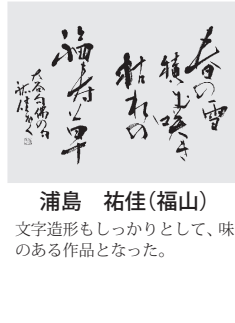
西原 美瑛(東城)

伸びやかな筆致で、ゆとりある作となった。



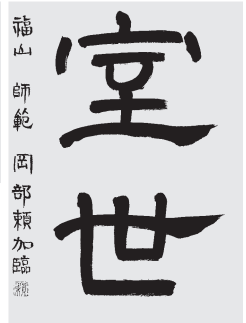
安中みゆき(神辺)

素直なタッチで好感度の上る作品である。



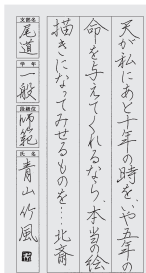
浦島 祐佳(福山)

文字造形もしっかりとして、味のある作品となった。



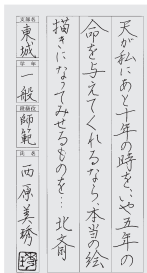
岡部 頼加(福山)

造形、横画の抜きなどよく特徴をとらえている。「室」字の破綻が一旦止めているのは気を付けましょう。



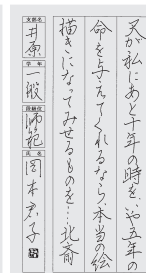
青山 竹風(尾道)

伸びやかな書きぶりに好感が持てる。文字数の多い題材ながら、うまくまとめている。



西原 美瑛(東城)

文字造形はもちろんのこと、漢字とかなの大小バランスがとれている。



岡本 君子(井原)

文字造形、漢字(行書)とかなの調和がしっかりしている。名前まで気を抜かず書いてある。



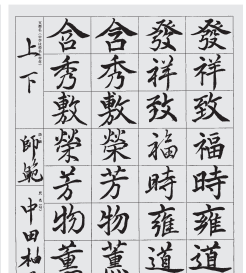
藤村 美虹(上下)

軽やかで流れるような細い線でシンプルながら存在感のある作品。



川原 美智子(府中)

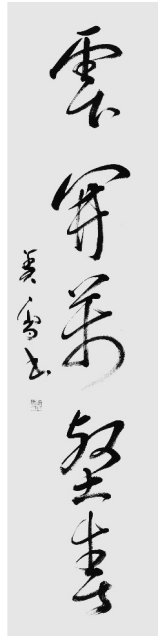
力強い筆致で勢いを感じるフォルム。すばらしい作品。



中田 柚乃(上下)

楷書、行書のコントラストが素晴らしい。

漢字・仮名条巾



寸評

漢字条幅

●朝日 観月さん・天位

文字の大小、配字に心を配った行草作。用筆もなかなかのもの。白がきれいな優作。

●藤村 美虹さん・天位

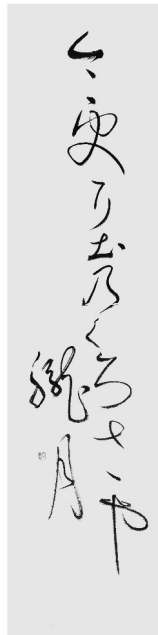
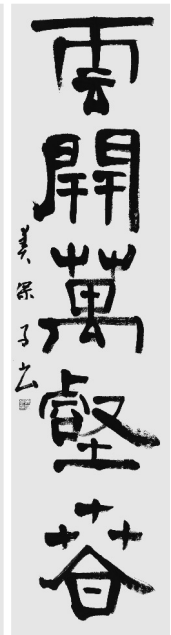
ゆったりとした心持ちから繰り出される伸びやかな筆線が心地良い隸書作。

●渡邉 未菜さん・天位

現代的で明るい篆書表現が目を引き。行草、隸書、篆書と幅広い学書の姿勢に敬意を表す。

●菩提 美雪さん・天位

一気呵成に筆をはしらせた行草作。変化と統一を意識しての作だが、運筆の抑揚、遅速を一考。



●内藤 京珠さん・天位

ブルンブルンと腕を振りながら、筆が走る様子が目に浮かぶ隸書作が心地良い。

●橋本美保子さん・天位

心を静めじっくりと筆を運ぶ、丁寧な書きぶりが目に浮かぶ。落ち着いたところある隸書作となった。

仮名条幅

●中山 文恵さん・天位

淡墨色が美しい。リズム良く筆が動き、潤渇の効いた筆線が心地よい。

●若林 都子さん・天位

キリッと引きしまった筆線で流れよく書かれた作品はみごと。前号の漢字条幅に続いて写真版に。

おねがい

- 競書作品には、学年・段級・氏名（雅号）など自書してください。また、詩文・一字創作・仮名・条幅作品には、作品面左下に鉛筆で明記してください。
- 出品シールは競書作品とシールの支部名・学年・段級・氏名（雅号）などで確認の上、作品裏面の右下部に貼付ください。シールの記載事項に誤り（段級を除く）や変更がある場合は、その箇所を赤字で訂正したうえで、貼付出品してください。

今月の優秀作品

臨書

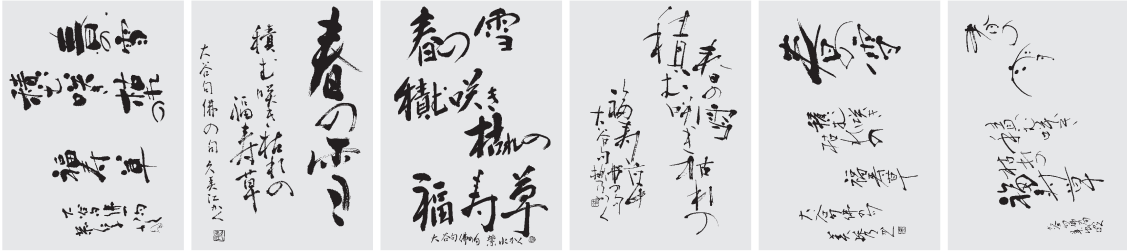


推薦 朝日 観月 準師 堂山ななみ 準師 金藤美紗子 師範 甲斐みどり 師範 金子 忠司 師範 中田 柚乃

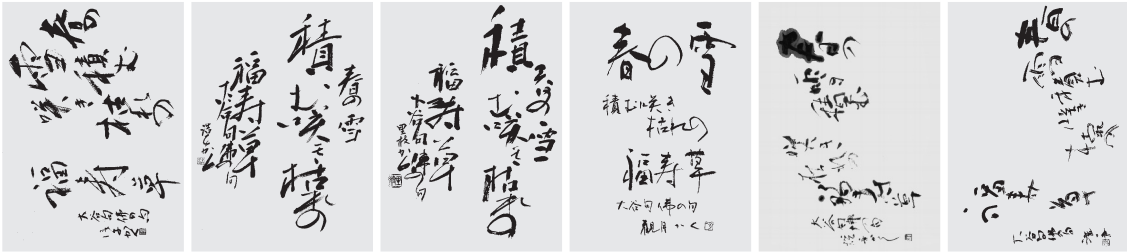


2級 片山 奈美 準優 柏原 優月 準優 樋上 智子 準特 窪岡 孝子 特級 木原久美江 推薦 久保 祐江

詩文



十段 井上恭仁子 十段 木原久美江 準師 黒田 紫水 準師 中田 柚乃 師範 西原 美瑠 師範 藤村 美虹

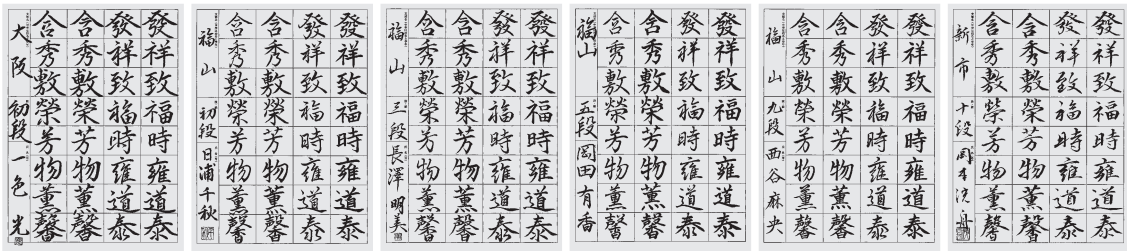


初段 山崎 信子 初段 齊藤 浩子 四段 枝広 里枝 六段 朝日 観月 八段 清水 炫舟 九段 岡本 洗舟

細字



十段 堂山ななみ 準師 標目 百葉 準師 池田紀美子 師範 青山 竹風 師範 橋本美保子 師範 竹内 深瀬



初段 一色 光 初段 日浦 千秋 三段 長澤 明美 五段 岡田 有香 九段 西谷 麻央 十段 岡本 洗舟

今月の優秀作品

一字創作



準師 浦島 祐佳



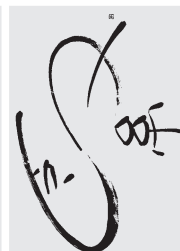
準師 中田 柚乃



準師 岡部 頼加



師範 橋本美保子



師範 宮原 杏竹



師範 荻野 美幸



初段 枝広 里枝



初段 高松 暁美



六段 朝日 観月



八段 清水 炫舟



九段 岡本 洗舟



十段 吉田 光代

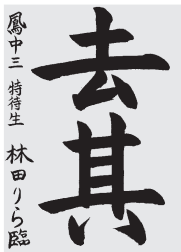
中学臨書



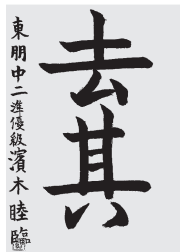
推薦 古山さくら



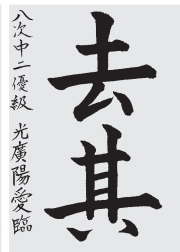
推薦 杉山 日莉



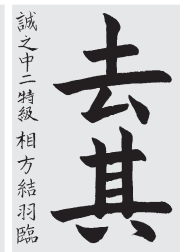
特待 林田 りら



準優 濱木 睦



優級 光廣 陽愛

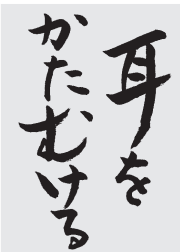


特級 相方 結羽

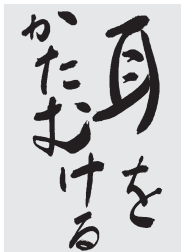
中学詩文



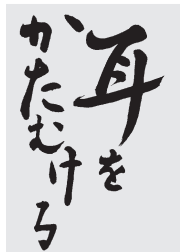
八段 吉田 悠乃



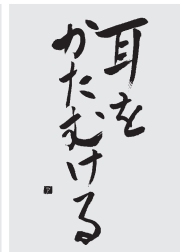
九段 小山 紗穂



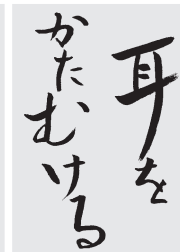
十段 田邊 未希



十段 松前 美佐



四段 田中明香里



四段 光廣 陽愛

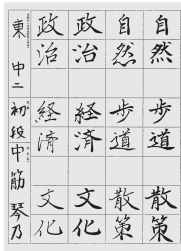
中学細字



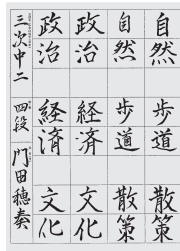
十段 松前 美佐



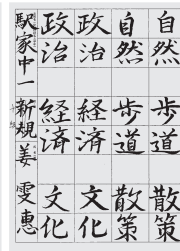
特待 林田 りら



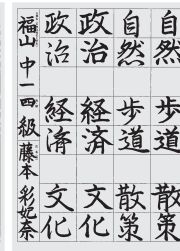
初段 中筋 琴乃



四段 門田 穂奏



10級 姜 雯恵



4級 藤本彩妃奈

中学一字創作



十段 山根 楓華



特待 林田 りら



初段 三島 花



三段 正野 夢々



5級 渡壁 美佳



4級 西尾 彩未

今月の優秀作品

<p>くり十級うなかつたきこ</p>	<p>ひよ十級いまおかま子</p>	<p>つぼ七級うおかわらゆな</p>	<p>ふか四級うかわ上あみ</p>	<p>あけ二級三やげんた</p>	<p>じゆ二級んきかたまな</p>	<p>幼年・小一</p>
10級 中田 彩喜	10級 今岡 まこ	7級 岡村 優名	4級 河上 愛実	2級 三宅げんた	二段 坂田 真菜	
<p>ねこ田ほのか</p>	<p>たじ四級う原田りお</p>	<p>あ引二級木坂心音</p>	<p>水吞三段山本しょうま</p>	<p>水吞三段外林暖陽</p>	<p>とう四段ん名越しめ依</p>	<p>小二</p>
5級 ねこ田ほのか	4級 原田 梨央	2級 木坂 心音	三段 山本しょうま	三段 外林はるひ	四段 名越 芽依	
<p>吉田九級ます田大地</p>	<p>明王八級塩出大和</p>	<p>南三段溝口果枝</p>	<p>曙一級篠原悠一郎</p>	<p>坪生三段丸山紗知</p>	<p>日吉五段今岡莉子</p>	<p>小三</p>
9級 増田 大地	8級 塩出 大和	3級 溝口 果枝	1級 篠原悠一郎	三段 丸山 紗知	五段 今岡 莉子	
<p>山波六級島谷美里</p>	<p>昭西五級肥田ふく帆</p>	<p>御幸三級妹尾有紗</p>	<p>栗原一級井上稜介</p>	<p>吉田二段藤井翔慎</p>	<p>伊勢丘小村昌嗣</p>	<p>小四</p>
6級 島谷 美里	5級 肥田ふく帆	3級 妹尾ありさ	1級 井上 稜介	二段 藤井 翔慎	九段 小村 昌嗣	
<p>坪生五段岡村香依</p>	<p>坪生六段高橋歩夏</p>	<p>三原七段都濃有紀子</p>	<p>御幸八段平田琴音</p>	<p>暁の星九段竹中杏奈</p>	<p>水吞十段吉本紗蘭</p>	<p>小五</p>
五段 岡村 香依	六段 高橋 歩夏	七段 都濃有紀子	八段 平田 琴音	九段 竹中 杏奈	十段 吉本 紗蘭	
<p>駄北四段多賀恵史</p>	<p>庄原五段松本うらら</p>	<p>多治米八段伊達佳歩</p>	<p>水吞九段松岡可純</p>	<p>旭丘十段坂口綾菜</p>	<p>西城特待新田真矢</p>	<p>小六</p>
四段 多賀 恵史	五段 松本うらら	八段 伊達 佳歩	九段 松岡 可純	十段 坂口 綾菜	特待 新田 真矢	

今月の優秀作品

中一

中二

中三

幼年・小一

小二

小三

五月節句
初段 姜 雯惠
城北 六段 魚谷 咲七
東朋 八段 岡田 美希
鳳 九段 西河 愛莉
福山 十段 藤本 彩妃奈
鳳 特待 房野 灯里

初段 姜 雯惠 六段 魚谷 咲七 八段 岡田 美希 九段 西河 愛莉 十段 藤本彩妃奈 特待 房野 灯里

若草 竹笛
減之特待 沢田 優乃
大門 特待 野田陽央奈
三次 特待 山本 麻琴
三次 特待 倉元 咲
城 北特 今堀 結月
福山 特待 檀上 真結

特待 沢田 優乃 特待 野田陽央奈 特待 山本 麻琴 特待 倉元 咲 特待 今堀 結月 特待 檀上 真結

古城 草笛
東城 特待 加藤 真凛
福山 特待 角田 優月
西奈 特待 中村 結
城南 特待 實諸 奈瑠果
八次 特待 小山 紗穂
鳳 特待 林田 りら

特待 加藤 真凛 特待 角田 優月 特待 中村 結 特待 實諸奈瑠果 特待 小山 紗穂 特待 林田 りら

●●●●●●●●●●
新規 10級 8級 5級 1級 二段 9級
真鍋 中田 仲野 村上 坂田 小村
結衣 彩喜 望来 優い 真菜 堯嗣

●●●●●●●●●●
8級 6級 5級 4級 二段 四段
世良 木坂 原田 楠 小川 名越
碧 心音 梨央 友実 詩音 芽依

●●●●●●●●●●
4級 3級 二段 四段 五段
桑原 古山 三石 山本 野崎
元弥 新 百花 桜子 紗知 真衣

今月の優秀作品

小四

学級会で体力作り
について話し合う。
栗塚 小四 十段 北山 宗佑

学級会で体力作り
について話し合う。
明立 小四 九段 坂出 悠

学級会で体力作り
について話し合う。
栗原 小四 八段 胡木 陽菜

学級会で体力作り
について話し合う。
幕山 小四 七段 渡部 由菜

学級会で体力作り
について話し合う。
水谷 小四 五段 外林 湊海

学級会で体力作り
について話し合う。
明王 小四 級 宗田 志菜

学級会で体力作り
について話し合う。
新山 小四 三級 三宅 由芽

●十段 北山 宗佑
●九段 坂出 悠
●八段 胡木 陽菜
●七段 渡部 由菜
●五段 外林 湊海
●二級 宗田 志菜
●三級 三宅 由芽

小五

去年の夏、海に近い
おじさんの家へ遊び
に行った。
栗塚 小五 十段 高垣 美駆

去年の夏、海に近い
おじさんの家へ遊び
に行った。
明王 小五 九段 延廣 昌希

去年の夏、海に近い
おじさんの家へ遊び
に行った。
蓮上 小五 八段 榑崎 梨心

去年の夏、海に近い
おじさんの家へ遊び
に行った。
卡 小五 七段 宮田 翔平

去年の夏、海に近い
おじさんの家へ遊び
に行った。
曙 小五 七段 篠原 彩恵

去年の夏、海に近い
おじさんの家へ遊び
に行った。
長浜 小五 五段 藤崎 奏人

去年の夏、海に近い
おじさんの家へ遊び
に行った。
東 小五 二級 延近 琴奈

●十段 高垣 美駆
●九段 延廣 昌希
●八段 榑崎 梨心
●七段 宮田 翔平
●六段 藤崎 奏人
●二級 延近 琴奈

小六

明治の新政府ができ、
江戸を東京と名を改
めて首都に定めた。
卡 小六 六段 柳父 悠真

明治の新政府ができ、
江戸を東京と名を改
めて首都に定めた。
蓮上 小六 特 佐藤 葵

明治の新政府ができ、
江戸を東京と名を改
めて首都に定めた。
栗原 小六 特 香川 佳穂

明治の新政府ができ、
江戸を東京と名を改
めて首都に定めた。
宝塚 小六 特 北山 佐和

明治の新政府ができ、
江戸を東京と名を改
めて首都に定めた。
幕山 小六 半段 小川 愛珠

明治の新政府ができ、
江戸を東京と名を改
めて首都に定めた。
水谷 小六 九段 松岡 可純

明治の新政府ができ、
江戸を東京と名を改
めて首都に定めた。
幕山 小六 九段 野間 杏風

●特待 柳父 悠真
●特待 佐藤 葵
●特待 香川 佳穂
●特待 北山 佐和
●十段 小川 愛珠
●九段 松岡 可純
●九段 野間 杏風

中一

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
広附 中一 特待 西尾 彩未

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
城角 中一 特 寶諸 凛誠

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
福山 中一 特待 藤本 彩妃奈

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
東城 中一 特 加藤 輝典

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
盈達 中一 十段 出店 樹依

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
幸十 中一 九段 藤井 湊大

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
三沢 中一 八段 角嶋 優仁

●特待 西尾 彩未
●特待 寶諸 凛誠
●特待 藤本 彩妃奈
●特待 加藤 輝依
●十段 出店 樹依
●九段 藤井 湊大
●八段 角嶋 優仁

中二

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
東明 中二 特 谷川 未羽

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
福山 中二 特 檀上 真結

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
三沢 中二 特 門田 穂奈

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
十田 中二 特待 山本 侑芽

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
幸十 中二 特 中村 睦子

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
鳳 中二 十段 高田 梨心

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
賀茂 中二 九段 池田 柚菜

●特待 谷川 未羽
●特待 檀上 真結
●特待 門田 穂奈
●特待 山本 侑芽
●特待 中村 睦子
●十段 高田 梨心
●九段 池田 柚菜

中三

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
三沢 中三 特 奥野 和哉

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
誠之 中三 特待 古山 さくら

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
城角 中三 特 伊達 幸歩

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
栗原 中三 特 松前 美佐

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
東明 中三 特 松浦 碧美

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
門田 中三 特 栗元 美緒

美しいものに触れると、その
感動を表現したいとい
う意欲がおこる。
東 中三 八段 重見 碧鳳

●特待 奥野 和哉
●特待 古山 さくら
●特待 伊達 幸歩
●特待 松前 美佐
●特待 松浦 碧美
●十段 栗元 美緒
●八段 重見 碧鳳